

政界・アラカルト

来夏の参院選に

国民・藤田氏意欲

水戸で国政報告

国民民主党の藤田幸久参院議員の政経フォーラム(国政報告)が7日、水戸市笠原町の県開発公社ビルで開かれた。藤田氏は「野党がバラバラではなく、まとまってやっていかなくてはならない。現在、党で来年7月の参院選に向けて候補者を選考しているが、選考された時点では、もう一度皆さんに恩返しをさせていたいただきたい」と立候補への意欲を示した。

国会で森友・加計学園問題を追及している藤田氏は

国政報告をする国民民主党の藤田幸久参院議員。水戸市笠原町



「大臣や官僚がうそを重ねれば重ねるほどおかしくなっている」と指摘。「民主主義の根幹や行政のルールまで変えてしまったのが安倍政権。最大の犠牲者は国民だ」と政権を批判した。

また、働き方改革関連法案では、採決後に与党と同党などが47項目に上る付帯決議を提案するなど、政党の垣根を越えた「決める政治」の必要性を強調した。